VersaPro
Mate

NEC

指紋センサ（ライン型）ユーザーズガイド

指紋センサ(ライン型)について

指紋センサ（ライン型）ユニット

指紋を読みとるためのセンサです。上の図のようにセンサ上で指をすべらすように引くと指紋が読みとれます。

参照

正しい指の動かし方について→「1　指紋の読みとり方」（p.10）

● 本機の指紋センサ（ライン型）は、IWS™ Desktop Security と連携してセキュリティを強化しています。指紋センサ（ライン型）をご利用になる際は、必ず、IWS™ Desktop Security のクイックスタートガイドをお読みください。

参照

クイックスタートガイドについて→「関連マニュアルについて」（p.8）

● BIOSの設定について

IWS™ Desktop Securityで指紋センサ（ライン型）を使用する場合、USB2.0機能を有効にしてください。

BIOSの設定について詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編』をご覧ください。

指紋センサ（ライン型）でできること

セキュリティを強化する

指紋センサ（ライン型）は、指紋を利用した個人識別に優れた認証システムです。
パスワードを使った従来のセキュリティよりも、さらに強固なセキュリティ機能を実現し、パソコンの不正使用や情報の漏洩を防止します※。
※指紋認証システムは、完全なセキュリティを保証するものではありません。

指紋センサ（ライン型）を使用して個人認証を行う場合でも、セキュリティ上、Windowsのパスワードが必要です。
必ずWindowsのパスワードを設定した状態で使用してください。
IWS™ Desktop Securityをお使いで、Windowsのパスワードを設定していない場合、IWS™ Desktop Securityの認証規則に、指紋センサ（ライン型）とWindowsのパスワードを排他設定（「OR」を選択）にすると、未登録の指紋情報でもログオンできてしまいます。
誤動作および不正ログオンを防ぐため、IWS™ Desktop Securityを使用する場合は、必ずWindowsのパスワードを設定してください。

視覚的なインタフェースで指紋情報を管理する

「IWS ™ Desktop Security」を使用して、指紋認証に必要な設定や指紋情報の管理をおこないます。
IWS ™ Desktop Securityでは、ユーザーアカウントごとに次のことができます。

- 指紋情報を登録、および削除する
- Windowsログオン/スクリーンセーバ機能を利用するための設定をする

853-810602-228-A
2006年5月　初版

指紋認証で Windows へログオン / スクリーンセーバのロック解除をする

指紋センサ（ライン型）で指紋を読みとるだけで、Windowsのログオンやスクリーンセーバのロック解除ができます。パスワードを入力するよりも、すばやい認証操作が可能です。

詳しくは、クイックスタートガイドをご覧ください。

DeviceProtector で指紋センサをロックしないでください。
ロックすると、指紋認証機能が使用できません。

参照

DeviceProtectorについて→『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「DeviceProtector」

このマニュアルの表記について

記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
参照	関連する情報が書かれている所を示しています。

モデル

モデルの名称については、添付のマニュアル『はじめにお読みください』をご覧ください。

記載内容

・本文中では、CD-ROMドライブなどのCD-ROMを読み込むためのドライブを「DVD/CDドライブ」と記載しています。お使いのモデルに搭載されたドライブについては、添付のマニュアルをご覧ください。

・イラストや画面は、モデルによって異なることがあります。

・本文中に記載の画面は、実際の画面と多少異なることがあります。

ソフトウェアの正式名称

Windows、 Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 2

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。

（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

（4）当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

（5）本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

（6）海外における保守・修理対応は、海外保証サービス［NEC UltraCare℠ International Service］対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。

http://121ware.com/ultracare/jpn/

（7）本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® XP Professional、および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。

（8）ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

■ 輸出に関する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。（ただし、海外保証サービス［NEC UltraCareSM International Service］対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを実施致しております。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCareSM International Service can be provided with hardware maintenance service outside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

関連マニュアルについて

本機に添付されている次のマニュアルを、目的に合わせてお読みください。

◆「IWS™ Desktop Security」の詳しい使い方や設定

→『クイックスタートガイド』
アプリケーションCD-ROMの「NECAS」フォルダ内の「IWSDS Quick Start Guide.pdf」をダブルクリックしてください。
『クイックスタートガイド』を参照するには、「Adobe Reader」が必要です。

◆指紋センサの位置や形状の確認

→『活用ガイド　ハードウェア編』（電子マニュアル）

◆IWS™ Desktop Securityの削除／追加

→『活用ガイド　ソフトウェア編』（電子マニュアル）

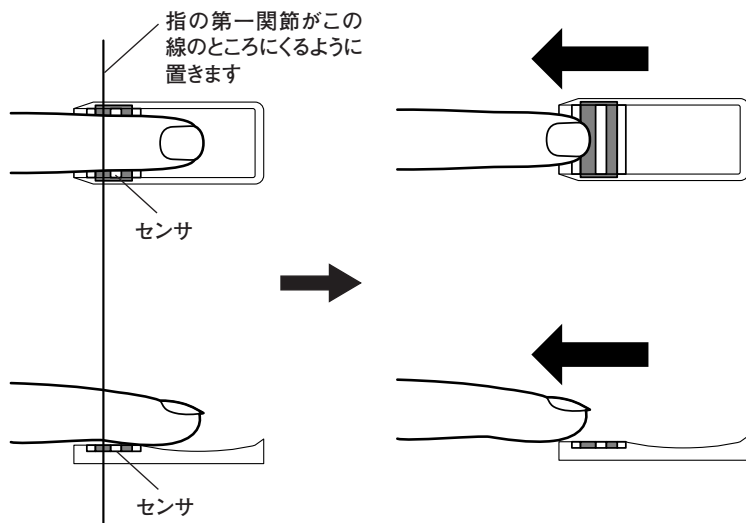
目次

1 指紋の読みとり方

正しい指の動かし方

指紋センサの高い照合精度を維持するために、「正しい指の動かし方」でご使用ください。

■ 正しい指の動かし方の例

指紋は第一関節のあたりから指先まで読みとります。

(1) 読みとる指の第一関節の少し上のあたりをセンサの上に置きます。少し時間をおいてから指を動かし始めてください。

(2) 指をセンサに触れさせながら、センサと平行に、ゆっくりまっすぐ引きます。 センサから指が浮かないように注意してください。

- センサに指を置くときは、関節とそのすぐまわりの部分をさけて置いてください。指がセンサから浮いてしまって、指紋が読みとれない場合があります。
- 指の途中で、引くのをやめないでください。
- 指が乾燥しているかたや指紋の読みとりに慣れていないかたは、第一関節と第二関節の間をセンサの上に置いてから引くようにすると、読みとれる場合があります。
- 指が乾燥しているかたは、センサに指を少し強くあてながら引くと、読みとれる場合があります。
- 指が汚れたり、汗や脂などで濡れている場合は、ハンカチなどで指先を拭いてから指紋の読みとりをおこなってください。
- センサは直接指で触れるため、指の汚れが付着します。「2　指紋センサ（ライン型）のお手入れ」（p.13）をご覧になり、常にセンサをきれいにしてください。

■ 指紋が読みとれないとき

間違った指紋の読みとり方

センサ上で次のような指の動かし方をすると指紋が読みとれない場合があります。

(1) センサに対して指を横に引く。
(2) 指を前に押し出す。
(3) 指をジグザグに動かす。
(4) 指を立てた状態で動かす（第一関節がセンサ面から浮いている）。

指紋の特性

指紋の登録は登録しやすい指を、複数本登録されることをおすすめします。

次のような場合は、指紋の登録が難しいことがあります。

・ 汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている
・ 極端に乾いている
・ 指紋が小さすぎる
・ 指紋が大きすぎる
・ 指紋が渦を巻いていない
・ 手が荒れている
・ 摩耗により指紋が薄い

汗や脂が多い場合には指をよく拭き、 手荒れや乾いている場合にはクリームなどを塗ることにより改善されます。
また、指先が小さい場合は、なるべく大きな親指などで登録してください。
また、次のような場合には、指紋の特徴が変化し、照合時に不一致が起きやすくなります。

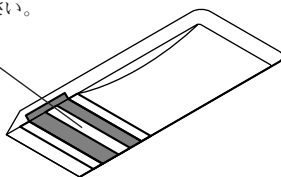
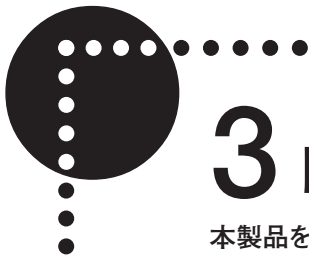
・ 夏期など、汗や脂が多い場合
・ 冬期など、極端に乾いている場合
・ 手が荒れたり、けがをした場合
・ 急に太ったり、痩せたりした場合

登録が難しい場合は、照合時にも不一致がおきやすい傾向があります。
すべての指が登録しにくい場合には、同じ指を複数回登録することで、照合時の不一致がおきにくくなります。

2 指紋センサ（ライン型）のお手入れ

指紋センサのお手入れのしかたについて説明します。

センサは直接指で触れるため、指の汚れが付着します。常にセンサをきれいにして、ご使用ください。

1 センサをやわらかい素材の乾いたきれいな布で軽く汚れを拭きとってください。

- お手入れはシンナー、ベンジンなどの揮発性の有機溶剤や有機溶剤を含む化学ぞうきんは、使用しないでください。
- ボールペンなど先の尖ったものを使用しないでください。

3 困ったときの対処法

本製品を使用してトラブルが発生したり、故障と思われる症状が起きたら、まず、ここを参考にチェックしてください。もし、この項目にないような症状が起こったり、記載されている対策をおこなっても改善されない場合は、NECにご相談ください。
お問い合わせの際は、ご使用の機器名称、故障時の詳しい状況、現在の状況をお知らせください。
NECのお問い合わせ先については、添付の『保証規定＆修理に関するご案内』をご覧ください。

Q 指紋登録ができない。

A 次の原因が考えられます。原因別に適切な対処をおこなってください。

原因	対処法
指の動かし方が正しくない。	「1　指紋の読みとり方」の「正しい指の動かし方の例」（p.10）を参考に再度登録をおこなってください。
指紋の特徴が少ない。	異なる指に変更し、登録をおこなってください。
BIOSの設定が正しくない。	『活用ガイド　ハードウェア編』を参考にBIOSを正しく設定してください。

Q スクリーンセーバロックが正常に動作しない。

A 他のスクリーンセーバに変更してください。

Q 照合でエラーとなる。

A 次の原因が考えられます。原因別に適切な対処をおこなってください。

原因	対処法
指紋センサに汗、汚れが付いている。	指紋センサを、「2　指紋センサ（ライン型）のお手入れ」（p.13）を参考にきれいにしてください。
指の動かし方が正しくない。	「1　指紋の読みとり方」の「正しい指の動かし方の例」（p.10）を参考に正しく指を動かしてください。

Q　認証がスムーズにいかない。照合結果にムラがある。

A　温度や湿度、体調によって、指の皮膚の状態が微妙に変化してしまい、そのために照合がうまくいかない場合があります。
次のチェックを参考に、指先の特徴や状態を確認し、適切な対処方法をお試しください。
指先の特徴、状態の違いなどによる照合時のムラが改善し、認証が失敗する、認証まで時間がかかるなどの問題が解決する場合があります。

I. 指先の状態による傾向と対処法のチェック

i. カサカサで乾燥気味の指先の場合
センサ面に指を強めに押しあててください。指に軽く息を吹きかけ適度な湿り気を与えることで効果がある場合があります。指先の角質化の防止にハンドクリームのご使用をおすすめします。

ii. 手や指先に汗をかいている、湿った指先の場合
指先の汗をハンカチなどで拭き取ってください。指をセンサ面にあてる際、少し軽めに指を乗せることによって改善される場合があります。

iii. 指先の皮膚が荒れている場合
他の指で再登録することをおすすめします。ハンドクリームなどのご使用をおすすめします。

iv. 皮膚炎にかかっている場合
他の炎症のない指で再登録するか、治癒するまでパスワードでのご利用をお考えください。

v. 指先に太いシワがある場合
指の中央部に太いシワがあると照合がうまくいかない場合があります。他の指で再登録することをおすすめします。

Ⅱ. 使用感からの照合の傾向と対処法のチェック

i. 午前中の照合で認証できない場合が多い
起きてまもなくは新陳代謝が低下している場合や、皮膚の脂が洗剤などで流されて乾燥状態になっていることがあります。
指先に軽く息を吹きかけ適度な湿り気を与えることで、改善できる場合があります。
また、ハンドクリームなどのご使用をおすすめします。

ii. 一回で認証できるときと連続で認証できないときとムラがある
センサ面への指の動かし方を確認してください（p.10）。
指をセンサ面にあてる強さにムラがあるかもしれません。ご自分のベストな強さを見極める必要があります。

iii. 認証できない場合が多い
「I. 指先の状態による傾向と対処法のチェック」を参考に、再度、登録をやりなおして、改善するか試してください。

Q **Windowsのログオンができない。**
スクリーンセーバのロック解除ができない。

A IWS™ Desktop Securityの認証規則を、指紋センサ以外のデバイスでも認証できる設定に変更してください。変更すると、Windowsパスワードやセキュリティチップユーティリティの基本ユーザーパスワードでWindowsのログオン、またはスクリーンセーバのロックが解除できます。
IWS™ Desktop Securityの認証規則については、クイックスタートガイドをお読みください。
また、BIOSセットアップユーティリティでUSB関連の項目が正しく設定されていない場合、指紋認証機能が使用できません。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』をお読みください。

Q **クイックスタートガイドが表示できない。**

A IWS™ Desktop Securityをインストールしても、クイックスタートガイドはインストールされません。詳しくは、「関連マニュアルについて」をお読みください（p.8）。